

## はじめに

新しい時代に向けた学校教育のあり方への関心が高まっている中、鳥取県の未来を担う子どもたちには、これからの変化が激しい予測困難な社会にあっても、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動し、自らの可能性を發揮して、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力、すなわち「生きる力」が求められます。平成29年3月に告示された新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しており、幼稚園等では平成30年度、小学校では令和2年度に全面実施となりました。中学校では、令和3年度から全面実施となります。

こうした大切な節目となる本年度は、社会全体が、新型コロナウイルス感染症に対峙していかなければならない年となりました。今後も、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、子どもたちの命と健康を守るための万全の感染症対策と、子どもたちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていかなければなりません。そしてそのような状況の中でも、新学習指導要領で示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に柔軟に対応していくことが重要であり、「新しい学校の生活様式」を踏まえつつ、新学習指導要領等の円滑な実施に向けた取組を一層推進することが求められています。

本県では、「自立して心豊かに生きる 未来を創造する 鳥取県の人づくり」を基本理念とした「鳥取県教育振興基本計画～未来を拓く教育プラン～」に基づき、学力向上に向けた中長期的な方向性と具体的な施策を示した「鳥取県学力向上推進プラン」の策定、グローバル化に対応した英語教育の充実やICTを活用した教育の充実、ともに生きるための特別支援教育の充実など、様々な教育施策を進めています。

また、「子どもたちは地域の宝、地域の未来」「地域の子どもは地域で育てる」という認識のもと、園・学校・家庭・地域が互いに連携・協力し、地域の未来を担う子どもたちの成長を地域全体で見守り、支えていくため、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動などの取組を進めるとともに、ふるさとキャリア教育の充実などを推進しているところです。

本書「鳥取県学校教育のめざすもの」では、新学習指導要領等の全面実施に向けて改訂の趣旨に沿った保育・授業実践が円滑に行われるよう、各教科等の改訂のポイントや実践課題に即した具体的な実践事例、評価のあり方を示すとともに、本県学校教育の基本方針や重点事項なども併せて記載しました。

各園・学校におかれましては、本書を活用して新学習指導要領等の趣旨について理解を深めるとともに、地域や幼児・児童・生徒の実態に即した学校教育目標のもとに教育課程の編成・実施・改善を進め、教育活動の充実が図られることを願っています。

令和2年9月

鳥取県教育委員会

教育長 山本 仁志